

みんなのおうち情報誌

ハウリー

4 月号
2021.10
ふりー



こんにちは！マスコットキャラクターの「ハウリー」です。
裏表紙のプロローグも見てね♪▶▶▶

CENTER REPORT 218 秋号

フリーペーパー『ハウリー』は、北海道建築指導センターが1968年から発行している
季刊誌『センターレポート』の秋号として発行されるものです。

水回り空間を考える ウイルスに強い家づくり

新型コロナウイルス感染症対策として、「換気の悪い密閉空間」「多数が集まる密集場所」「近所で会話や発声をする密接場面」、いわゆる「三つの回避」が求められます。

2020年発行「ハウリー3ごう」では、「換気」に焦点を当てました。今回は全国的に急増している自宅療養を踏まえ、ウイルスを持ち込まない、ウイルスを広げない家づくりに向けて、「水回り空間」を考えます。

文／菊田 弘輝（北海道大学大学院 准教授）

感染症対策で重要な 水回り空間の計画

現在、ワクチン接種が進んでいるものの、新型コロナウイルスが変異を繰り返し、デルタ株による感染が広がっています。

全国的な感染者数の急増により病床不足が逼迫し、自宅療養せざるを得ないケースが増えているのも事実です。その際、ウイルスの接触感染、飛沫感染に加え、空気感染（エアロゾル感染）のリスクにも配慮しながら、住宅内での感染者と同居者の行動範囲をきちんと分ける必要があります。重要なポイントとなるのが、

水回り空間（浴室、脱衣所、洗面所、洗濯所、便所）の計画になります。

そこで、水回り空間とLDK、私室といった居住空間の関係を感染症対策という視点で分析した研究結果について紹介します。

新築戸建て住宅350戸 図面調査

2010年以降に住宅雑誌に掲載された新築戸建て住宅350戸の平面図を調査しました。分析に当たり、厚生労働省が公表している情報（1）を参考に、住宅内での感染症

対策として「ウイルスを持ち込む可能性」と「ウイルスを広げる可能性」の2点に分けて整理しました。

ウイルスを持ち込む 可能性

ウイルスを持ち込む可能性は、玄関から洗面所までの動線を抽出し、LDKとの関係と接触する扉の数で整理しました。

LDKとの関係については、玄関から洗面所までの動線が、壁や扉で完全にLDKと分離された「空間分離」、扉のないホールなどを介して動線で分離された「動線分離」、LDKを通過する「LDK通過」の三つに分類します。「LDK通過」が156戸（45%）と最も多く、台所と水回り空間を結ぶことで、生活動線の効率化を図ろうとしていると考えられます。



講演会にて

接触する扉の数については、接触がない「非接触」、一つに接触する「接触」、二つ以上に接触する「多接触」の三つに分類した結果、「接触」が169戸と最も多くなりました。以上より、これら二つを組み合わせ、居住空間にウイルスを持ち込む可能性を示します。可能性が最も小さい「空間分離」と「非接触」を組み合わせた「小」は32戸（9%）該当しました。その特徴としては、玄関洗面を設置、または1階に水回り空間、2階にLDKを配置している住宅タイプが多かったです。

ウイルスを持ち込む可能性				
		玄関から洗面所までの動線とLDKとの関係		
		空間分離	動線分離	LDK通過
接触する扉の数	非接触	32	50	28
	接触	46	53	70
	多接触	3	10	58

可能性「小」 可能性「中」 可能性「大」

1) <https://www.mhlw.go.jp/content/000618528.pdf>

ウイルスを広げる

可能性

ウイルスを広げる可能性は、私室から便所、風呂までの動線を抽出し、同居者の動線との関係とLDKとの関係で整理しました。

同居者の動線との関係については、私室から二つ目の便所までの動線が、同居者の動線と分離された「動線分離」、同居者の動線と分離されていない「動線非分離」、便所が一つのみで同居者と分離することができない「便所分離不可」の三つに分類します。「便所分離不可」が181戸(52%)と最も多く、自宅療養において重要な便所の分離が不可能な住宅が多いことが分かりました。LDKとの関係については、私室から浴室までの動線が、同じく「空間分離」、「動線分離」、「LDK通過」に加え、私室が開放的で壁や扉で完全に分離することができない「室分離不可」の四つに分類した結果、「LDK通過」が188戸と最も多くなりました。

以上より、これら二つを組み合わせ、自宅療養時に居住空間にウイルスを広げる可能性を示します。可

		ウイルスを広げる可能性		
		私室から二つ目の便所までの動線と同居者の動線との関係		
私室から浴室までの動線LDKとの関係	空間分離	14	23	26
	動線分離	15	24	49
	LDK通過	58	33	97
	室分離不可	1	1	9

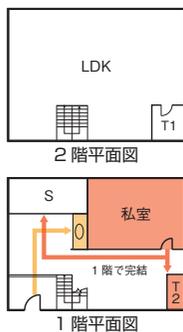
可能性[小] 可能性[中] 可能性[大]

能性が最も小さい「動線分離」と「空間分離」を組み合わせた「小」は14戸(4%) 該当し、特徴としては、水回り空間と私室を同階に配置、または階段とLDKを空間分離している住宅タイプが多かったです。

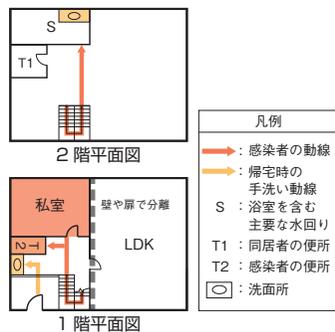
感染症対策を踏まえた家づくり

これまでの水回り空間と居住空間の関係から新型コロナウイルス感染症への対応度が最も高い住宅プラン、つまりウイルスを持ち込む可能性、ウイルスを広げる可能性ともに

① 階の分離で空間分離



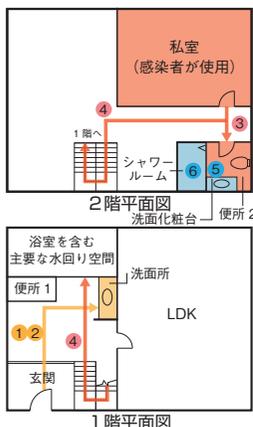
② 玄関洗面と壁や扉で空間分離



「小」となった住宅は、僅かに2戸(0.6%)であることが分かりました。水回り空間の計画に際し、あくまでも感染症対策という視点に立つて、二つの住宅プランを紹介します。

①は階を分離して空間分離を行う手法で、1階に水回り空間と私室、2階にLDKを配置しています。1階で感染者の動線が完結し、階段の配置の自由度が高くなります。

②は玄関洗面の設置と、壁や扉によって空間分離を行う手法で、感染者の動線が階をまたぐため、階段の配置の自由度は低くなります。しかし



- ウイルスを持ち込まない**
- ① 玄関からLDKを通過せず行ける洗面所
 - ② 玄関から扉を触らず行ける洗面所
- ウイルスを広げない**
- ③ 私室から同居者と動線が交わらず行ける二つ目の便所
 - ④ 私室からLDKを通過せず行ける浴室
- 対策強化案**
- ⑤ 二つ目の便所に洗面化粧台を設置
 - ⑥ 二つ目の便所に浴室(シャワールーム)を設置
 - ⑦ (①②が難しい時) 玄関に手洗い器を設置
- ※この平面図は模式的なものであり、実際の形状を表しているわけではありません。

し、水回り空間、LDK、私室の配置階は自由度が高くなります。工務店・設計事務所(67件)に感染拡大前後の水回り空間の設計について尋ねると、現時点では対策強化案のような住宅の水回り設備の増設よりも、水回り空間と居住空間の配置を工夫する方が現実的とのこと。

対策強化案は今回のような感染症全般に限らず、将来的にバリアフリー・介護の場でも十分に役立ちます。その上で、万が一の自宅療養に備え、あらかじめ換気や水回り空間について考えておくことが大切です。

テレワークでの ビジネスマナーを 身につけよう

キャリアアドバイザー・青山夕香さん

ウィズコロナ時代の新しい生活様式が定着してきました。

ビジネスシーンでは、テレワークやオンライン会議が一般化しています。

そこでのマナーやルールづくりについて、

オンライン研修を数多く手掛ける青山夕香さんに伺いました。

☐ オンラインが日常化

私の仕事は研修講師なので、従来、すべてが対面研修。オンライン研修がメインになるとは、想像もしていませんでした。

しかし、コロナ禍で、2020年はオンライン研修が80本を数え、

2021年に入って本州の専門学校、オンライン授業が加わり、道内大学2校の資格講座もオンライン授業で行い、オンライン研修は2021年上半期だけで100本を超えています。

対面研修をしていた頃は、移動時

間を含めると1日4本の研修が限界でしたが、オンラインでは移動時間がないので、1日6本も可能です。北海道にしながら画面をとおして本州のお客さまとも頻繁に会うことができ、オンラインの大きなメリットを実感しています。

☐ オンライン会議の 集中力は20分

オンライン授業の場合、学生たちは私を教室のスクリーンで見て、私はパソコンの画面で全学生を見ながら授業を進めます。90分の授業の中

で学生たちが集中できるのは、せいぜい20分から30分。集中できる時間は、対面よりオンラインの方が短いことがわかりました。

そこで、20〜30分経ったらガラッと話題を変え、空気すら変えて授業を進めるようにしました。

オンライン会議での集中力も、さして変わらないでしょう。会議において議論するテーマは三つまでとし、各テーマ20分でまとめ、長くても60分で切り上げることです。

あるとき、「オンラインだから、小刻みに15分の会議に3回くらいご参加願います」と頼まれました。「何について話し、何を決めるのか。メールのやりとりではだめなのか」と尋ねると、メールで十分対応



青山夕香（あおやま・ゆか）

株式会社青山プロダクション代表取締役
2001年度ミスさっぽろ、2002および04年度ミス日本北海道代表。研修講師として年間250回を超える企業研修などを手掛ける。著書に「大人の常識力を高める100問」など。北海道新聞ウェブ版に「青山夕香の自分を高く売る方法」連載中。

可とわかり、それ以降、オンライン会議のお誘いがなくなりました。「オンラインになってから会議が増えた」という人が急増しています。「ただ何となくオンライン会議を」というのでは、貴重な時間の損失です。むだな会議を行っていないか、見直すことが必要です。

☐ 連絡と確認は 積極的、定期的

私が担当している資格講座の授業では、毎回過去問題を解く時間を設けています。教室をぐるっと一周すれば、学生の様子がわかりますし、学生も講師が近づいてくるので緊張が保てます。



しかし、オンラインの画面越しでは、学生一人一人の表情や息づかいがわかりません。そこで、「〇時になったら、どこまでテキストを進められたか発表してもらいます」と前もって伝え、少人数の場合は一人ずつ発表させ、50人を上回る場合は各自チャットで報告してもらい、私がおもったチャットを声に出して読み上げるようにしています。つまり、連絡させるよう仕向けているわけです。

テレワークにおいて、「ちゃんと仕事をしているのだろうか」と上司が勤ぐれば、部下も「信用されていない気がする」と疑念を抱くものではないです。部下は「直接聞いてくればいいのに」と思っており、上司は「何で報告してこないんだ」と思っている。こうした状況に陥らないよう、

上司から部下に「〇時になったら進捗状況を報告してもらいます」と伝え、時間になったら確認することをおすすめします。

オンラインでは、緊張を解きほぐすアイスブレイクも雑談もありません。心が休まる間がないまま一日が終わることもあります。本人が気づかないうちに疲れがたまっているかもしれません。

管理職であれば、テレワークの社員を放っておかないこと。いつから仕事を始め、いつ休憩をとり、どのような仕事をしているのかを把握していないようでは、管理者として失格です。

☐ テレワークはリアクションが大事

テレワーク中のオンライン研修も担当していますが、画面には顔が写っているもののパソコンの画面を見ながら仕事をしていたり、画面を見ているもののネット検索をしたり、流し聞きしていたり、運転中であつたり、様々な状況で視聴していることがわかります。

対面研修では「ながら研修」は不

可能で、全員が同じような状況下での受講ですが、テレワークでは自分一人。監視の目も周りの目もありません。したがって、始業時間や就業時間、研修時間等は、上司が管理をした方がよいでしょう。

また、オンライン研修を受け慣れない社員向けの研修をする場合、私は次のようなルールを提案します。

まず、リアクションはオーバーに。例えば、「なるほど」という意味合いで、大きくうなづくこと。理解ができたときは、手や指で丸のサインを出すこと。質問があるときは、拳手してからマイクをオンにして話すこと。他の人が話しているときは、笑顔で聴いて、聴き終わったら拍手をすること。オンライン研修を始める前にこれらを楽しく伝えることで緊張が解け、全員が協力してくれます。



「大人の常識力を高める100問」(エイチエス刊、2016年発行)

今後、テレワークという形態がなくなることはないでしょう。ルールをわきまえ、マナーを身につけ、ビジネスをスマートに展開していただく。

=テレワークの留意点=

ポイント

- ◎テレワーク中のルールを作る。
- ◎会議の目的や内容、時間を見直す。
- ◎テレワークの社員に上司から進捗状況を確認する。
- ◎報告・連絡・相談は時間を決めて確認する。
- ◎オンライン会議では、相手にはっきりわかるリアクションをする。



ハウリーが質問します!

住宅のリフォームに関するハウリーの質問に、
建築指導センターの住宅相談員がわかりやすく答えます。



Q

我が家は、高い暖房費をかけても寒いです。建て替えるときは、どこに注意したらいいの？
それから、暖房・給湯のエネルギー源を決めるときの注意点も教えてください。

A

暖かくて暖房費も抑えられる住宅をつくるには、高い断熱・気密性能を確保することが第一です。その上で、効率の良い暖房システムや機器を導入します。住宅の断熱性能を高めるには、床（基礎）、壁、天井（屋根）の断熱材を厚くするだけでなく、トリプルガラスなど断熱性能に優れた窓を選択します。そうすることで、室内の熱が逃げにくくなり、窓面や床面の冷気感も低減します。住宅本体の断熱・気密性能を高めた上で、セントラルヒーティングなど住宅全体を暖房するシステムを導入すると、寒い冬でも家中暖かい住まいが実現します。

暖房・給湯に使用されるエネルギー源は主に電気・灯油・ガスです。

暖房・給湯の設備は、イニシャルコスト（機器代・設置工事費）とランニングコスト（電気代・灯油代・ガス代等維持費）を比較して選びましょう。特に寒冷地では、ランニングコストに暖房費が多くを占めるため、暖房の熱源・暖房方式をしっかりと検討しましょう。



発電できる機器（太陽光発電や電気と熱を同時につくるガスコージェネレーションシステムなど）は高価ですが、災害時の備えとして魅力的です。

なお、エネルギー源によらず暖房機器・給湯機器は寿命があり、交換する時期が必ずきます。機器交換時に、エネルギーチェンジは可能ですが、費用がかかるので、どのタイミングで何に替えるのか十分な下調べが必要です。



エネルギー源の主な特徴

	長所	短所
電気	・火がない安全性	・電気温水器・エコキュートは大きく場所をとる
灯油	・イニシャルコストが安い ・壁掛型のボイラーがある	・灯油代が社会情勢で上下 ・給湯の管理が必要
都市ガス	・電気・灯油よりCO ₂ 発生量が少ない ・コンパクトな暖房・給湯一体型ボイラーがある	・道路から機器までの配管工事が必要
LPガス	・工事費が安い ・都市ガスと同じコンパクトな暖房・給湯一体型ボイラーの設置可能	・ボンベの交換が必要 または、バルク（容量の大きなガスタンク）の設置 ・都市ガスに比べるとガス代が高い

建築指導センターホームページの「よくある住宅相談サイト」で、多く寄せられているご質問とその回答を項目別に紹介しています。
ぜひ、ご覧ください。



お い で よ

無料相談窓口



住宅相談室

住宅相談室ではこのような相談にお答えしています



センター配布図書(一部)

住宅のことや住まい方に関するさまざまな相談に、
一級建築士が親身になってお答えします。
トラブルを避けるためにも、まず住宅相談室にお電話ください。

一般住宅相談(電話のみ)：月～金曜日

法律相談(電話のみ)：毎月第2・4火曜日

- ・全道の相談窓口(札幌市)：TEL.011-222-6070
相談時間：10時～16時 (1回の相談は30分程度)
- ・地域の相談窓口(旭川市)：TEL.0166-22-8894
相談時間：10時～16時 (1回の相談は30分程度)

- ・法律相談窓口(札幌市)：TEL.011-241-1893
相談時間：13時～16時
- ・法律相談は、札幌弁護士会の派遣弁護士が担当
- ・**要事前予約**

一般住宅相談、法律相談ともに土・日・祝日・夏季休業日・年末年始はお休みです。
新型コロナウイルス感染防止のため、当分の間、面談を中止しています。
面談再開についてはホームページでご確認ください。

11月10日は「エレベーターの日」

2019年NHK大河ドラマ「いだてん〜東京オリムピック噺〜」の舞台の一つ、東京・浅草の12階建て展望塔「凌雲閣」に、1890年11月10日、日本初の電動式エレベーターが設置されたことにちなみ、一般社団法人日本エレベーター協会により1979年に制定されました。



凌雲閣(りょううんかく)

画像提供：一般社団法人日本エレベーター協会



マーク表示位置の例

これは「昇降機等定期検査報告済証マーク」だよ。指導センターを通して定期報告をしたエレベーターなどには、このマークが貼ってあるんだ。探してみてね。



このマーク
見たことある？

(一財)日本建築設備
・昇降機センター制定



ハウリーはエゾリスの女の子です。

人間の世界が大好きなエゾリスの「ハウリー」は、ポシェット型のきのこの家に住むおおむしの「ビル」といつも一緒。北海道の住まいや建物に興味津々の「ハウリー」と、暮らしや建築に関する知識が豊富な「ビル」の2ひきが、北海道の建物の魅力を伝えて、一緒に住まいを考えるお手伝いをします。



●アロローグ(ハウリーとビルの出会い)●

人間の町に寄り添うように存在する、桜の森。その森で暮らすエゾリスの「ハウリー」は、人間が大好き。とくに人間の暮らしに興味津々です。今日も森の高台から人間の町の様子を眺めてニコニコしています。

「あの赤い屋根のおうちが可愛いなあ、あっちのビルの工事はだいぶ進んだみたい、一体どんなビルができるのかしら？」
日々移り変わる町をみる、幸せな時間を過ごしながらハウリーがまきほど見つけた美味しそうなきのこを食べようとした時でした。
「わわわ〜〜！や、やめておくれ！」
慌てた様子のあおむしがきのこから顔を出しました。



「お嬢さん！このきのこは僕のおうちなんだ！
どうが食べないでおくれ！」
よく見ると、きのこには小さな窓や玄関がついています。そう、このきのこはあおむしのおうちだったのです。
「ごめんない。あおむしさんのおうちとは知らなくて！」
「いやいや、大丈夫さ。ところで人間の暮らしや建物に興味があるんだね。僕にわかることなら教えてあげるよ！」
「ほんとう？ぜひ教えてほしいな！」
「私はハウリー、よろしくね！」
「僕はビル、よろしくねハウリー!!」
ひょんなことから出会ったハウリーとビルはすぐに仲良くなりました。
今日も2匹仲良く、人間の町を眺めながら、いろんなおしゃべりをしています。

一般財団法人 北海道建築指導センター

〒060-0003
札幌市中央区北3条西3丁目1番地 札幌北三条ビル8階
<https://www.hokkaido-ksc.or.jp>

代表 TEL.011-241-1893
FAX.011-232-2870

住宅相談 TEL.011-222-6070

旭川支所 TEL.0166-22-8894

〒070-0039
旭川市9条通12丁目 ハタケヤマビル6階



交通機関 JR札幌駅から歩いて5分
地下鉄南北線さっぽろ駅から歩いて3分